

### あらすじ

ある佐治谷に人のいい男の若いもんが1人おりました。

そこから、こっちの家におじいさんやおばあさんのところに娘が1人おって、そいでその人のいい正直もんだいなけん、それをまあ婿さんにもらわいいって、婿にそれが行きましたそいで。そげしたら、人間のいいよつなもんだけん、そいでけえ、言われた通りに何もする。

それで「飯食べたときにお茶飲みかけたら、お茶がえらい熱いで、そのおばあさんが「お茶の

## 愚か婿とたくあん風呂

(西伯郡伯耆町溝口)



イラスト・福本隆男

## 佐治谷話の一つに

言われたら、そげして、かっただそいで、何だかおせ。そつしたら漬けもん入れ 宮だか何とかいうようなて混ぜえとお茶がぬるう名だったそつですが、そなつて、そつで飲んで喜の嫁さんの名を言つてんでおりました。「漬けもん持つてきてい

熱いときは漬けもんを一 切れ入れて、箸でもつて 呂に真っ先に入れ」ってそつで「漬けもん何にす 混ぜたらお茶が冷めえけ 言われて、風呂に入ろうる」「いや、漬けもん、 ん、そげして飲め」って としたら、風呂がちと熱 はやはや持つてきてい

「こらまあ、なんほ混 ぜてもあかの、冷めんけ んしかたがない。まあ縁 でなとほんなら水くんで きて、ちいとわて埋めて 入るけん」ちいで、嫁さ 探る』がある。

「こらまあ、なんほ混 ぜてもあかの、冷めんけ んしかたがない。まあ縁 でなとほんなら水くんで きて、ちいとわて埋めて 入るけん」ちいで、嫁さ 探る』がある。

「こらまあ、なんほ混 ぜてもあかの、冷めんけ んしかたがない。まあ縁 でなとほんなら水くんで きて、ちいとわて埋めて 入るけん」ちいで、嫁さ 探る』がある。

### 解説

本連載の体裁にしたが って「あらすじ」とした が、実際は遠藤さんが語 られたそのままを紹介し たものである。

遠藤さんの話では、こ の話は文久3(1863) 年生まれの父から聞かれ たものとのことだった。

閑敬吾『日本昔話大成』 で調べると、笑話の愚人 譚の中の「愚か婿(息子)」

(元鳥取短期大学教授)

(水曜日に掲載)